

映像制作と放映

放送日	放送時間	放送内容	放送尺 (秒)
2022/4/21	17:15~17:17	レポート！福井の海洋ごみ #1 ~チームクリーンブルー~	150秒
2022/4/28	17:15~17:17	レポート！福井の海洋ごみ #2 気比の松原 マイクロプラスチック調査~敦賀気比高等学校 科学部~	150秒
2022/5/5	17:15~17:17	レポート！福井の海洋ごみ #3 きれいな川をいつまでも ~ふくふくセミナー~	150秒
2022/5/12	17:15~17:17	レポート！福井の海洋ごみ #4 若狭の海を綺麗に ~オーシャングラスプロジェクト~	150秒
2022/5/1	11:47~11:48	海と日本プロジェクト 日本財団×東京大学 海洋プラスチックごみ対策事業 記者発表	60秒
2022/5/19	17:15~17:17	レポート！福井の海洋ごみ #5 海岸を守る漁師	150秒
2022/5/26	17:15~17:17	レポート！福井の海洋ごみ #6 美しい浜プロジェクト	150秒
2022/6/2	17:15~17:17	レポート！福井の海洋ごみ #7 九頭竜川のごみを調査	150秒
2022/6/9	17:15~17:17	レポート！福井の海洋ごみ #8 福井市長橋小学校	150秒
2022/6/16	17:15~17:17	レポート！福井の海洋ごみ #9 海ごみゼロウイーク	150秒
2022/6/23	17:15~17:17	レポート！福井の海洋ごみ #10 海域公園クリーンアップ	150秒
2022/6/30	17:15~17:17	レポート！福井の海洋ごみ #11 伝統の塩づくりにも忍び寄る...	150秒
2022/11/5	12:34~12:37	福井県フェスinサンドーム福井開催と鯖江市役所JK課オリジナルカニ缶先行販売紹介。	178秒
2022/11/5・ 12/27	15:25~16:25 15:43~16:46	若い世代を中心とした海離れ、そして海岸への漂着ごみ。海を取り巻く様々な問題の解決のため必要なアクションとは。「海と日本プロジェクト」を推進する日本財団・海野光行常務、そして若狭町出身のコメンテーター・若新雄純氏が坂井市三国町で対談。	3600秒
2022/9/18	11:45~11:46	鯖江市役所JK課オリジナルごみ拾いイベントの様態を放送。	51秒

事業ID:2022004899

事業名:福井県から発信する「井ぶりプラごみ」ゼロプロジェクト(CFB・海と日本2022)

団体名:福井県プロジェクト実行委員会

極秘

事業内容3 映像制作と放映

放送日	放送時間	放送内容	放送尺 (秒)
2022/10/11	17:15~17:17	11/5放送の海と日本プロジェクト特別番組「おっきな海とちっぽけな人間」に向けた広報。	117秒
2023/2/20	17:15~17:17	スポGOMI甲子園福井県代表「敦賀すきすき」が敦賀市表敬訪問。	59秒
2023/9/6	22:54~22:59	スポGOMI甲子園福井県予選大会の番組。	280秒
2023/3/11	17:15~17:30	鯖江市役所JK課と連携したオリジナル「極力二缶」リニューアルの様子や福井県版スポーツごみ拾いの様子など今年度の取り組みを放送。	840秒
2023/2/27	17:15~17:17	「スポGOMI」ワールドカップ開催 記者発表の様子を放送。	60秒

映像制作と放映

放送日時	4月21日(木曜日) 17:15~17:17
番組名	レポート!福井の海洋ごみ #1 ~チームクリーンブルー~
放送内容	先月敦賀市大比田海水浴場でごみ拾いが行われました。参加しているのは市民団体チームクリーンブルーの呼び掛けで集まった皆さん。チームクリーンブルーは海好きがこうじて一人で砂浜の清掃をしていた名子朋宏さんと若狭湾沿岸で漂着ごみの再資源化を図るグループ アノミアーナの前田和代さん、上塚千夏さんの3人で2020年11月に結成。 毎回敦賀市はもとより県内各地から大勢の方が参加。海辺の環境保全を図っています。敦賀の海洋ごみは冬の北西の季節風の影響を強く受けるため、敦賀湾の北西向きの海岸に流れ着くことが多いそうです。特に大比田海水浴場は湾の入り口にあるため海洋ごみがたまりやすい場所です。 今回の作業ではおよそ1時間でごみ袋37個を回収。回収した海洋ごみはなるべくリサイクルできる取り組みも行っています。
放送尺(秒)	150秒



映像制作と放映

放送日時	4月28日(木曜日) 17:15~17:17
番組名	レポート！福井の海洋ごみ #2 気比の松原 マイクロプラスチック調査～敦賀気比高等学校 科学部～
放送内容	日本三大松原として有名な敦賀市の気比の松原は松尾芭蕉も詠んだことがある景勝地で海岸線にはおよそ1.5kmの美しい砂浜が広がっています。砂を集めているのは敦賀気比高校 科学部のメンバー。実は彼らが行っているのは砂の中にあるマイクロプラスチックの調査です。きっかけは2年前、松原の砂の中にマイクロプラスチックを見つけたこと。それをきっかけにメンバーは調査をはじめました。調査方法は年3回砂300gを松原の10カ所で採取。飽和食塩水を使い分離、マイクロプラスチックの数を数えます。 また近くに堤防がある所では多くのマイクロプラスチックが確認できたそうです。敦賀気比高校 科学部は今後新たな研究を進めるそうです。
放送尺(秒)	150秒



調査① | 秋に多くのMPが採取できた
※MP=マイクロプラスチック

採られた要因は	春 (21/4/26)				夏 (21/7/17)				秋 (21/11/20)						
	PE	PS	PP	その他	合計	PE	PS	PP	その他	合計	PE	PS	PP	その他	合計
地点1					0	1				1	2				2
地点2	3	1	1	5						2					3
地点3	7	6		13						12	5				17
地点4										2		6			8
地点5			1	1						1	24	3			28
地点6						3				3	3				4
地点7										4	11	1	1	7	94
地点8	1	2		3						4	7			12	
地点9										6				6	
地点10			2	2						11	11			21	
合計	11	11	2	24		7	2	1	11	21	82	140	7	16	245

PS(ポリスチレン)・・・発泡スチロールなどの原料

採取した時期がカニ漁の時期に重なったことや夏のマイクロプラスチックが秋に出てきたとか



映像制作と放映

放送日時	5月5日(木曜日) 17:15~17:17
番組名	レポート! 福井の海洋ごみ #3 きれいな川をいつまでも
放送内容	福井市内の中心部を流れる足羽川。この日川の中流域で東郷地区・酒生地区の住民によるごみ拾いが行われました。参加者たちの中心メンバーは東郷公民館を拠点に活動する地元グループ ふくふくセミナーの皆さん。地球環境を考える学習会やボランティア活動などに取り組む女性グループです。豊かな生態系を遺し、四季折々の姿をみせる足羽川。昔から地元の人々に親しまれてきました。しかし近年、粗大ごみやプラスチックごみが目立つようになってきたと言います。 海ごみのおよそ8割が川から出た街ごみだと言われています。およそ50名が参加した今回のごみ拾い。1時間ほどでこれほどのごみが集まりました。
放送尺(秒)	150秒

5:16



きれいな川をいつまでも

～ふくふくセミナー(福井市東郷公民館)～

5:17

久保田早苗さん
ふくふくセミナー委員長ずっとこのままきれいなままいてほしいと
思って(ごみ拾いしている)

5:18

近年 粗大ごみやプラスチックごみが
目立つようになってきた

5:18



(ごみの量が)思った以上にすごい

映像制作と放映

放送日時	5月12日(木曜日) 17:15~17:17
番組名	レポート! 福井の海洋ごみ #4 若狭の海を綺麗に~オーシャンガラスプロジェクト~
放送内容	福井県高浜町にある若狭和田ビーチ。アジアで初の国際環境認証「BLUE FLAG」を取得した人気のビーチです。少し奥に進むとこのビーチにも多くの海洋ごみが。この日行われたのはオーシャンガラスプロジェクト。地元若狭でオーシャンガラスプロジェクトを行っているアノミアナ、京都でアパレルブランドやカフェを展開するヒューマンフォーラム、そして高浜明日研究所が開催しました。若狭和田ビーチを綺麗にし、回収しペットボトルごみをサングラスへ再利用するというビーチクリーンイベント。地元若狭だけでなく、北海道や京都からも参加者が集まりました。いよいよビーチクリーンがスタート、オーシャンガラスの原料となるペットボトルごみをはじめ様々な海洋ごみを回収します。この日回収したペットボトルごみから作られたオーシャンガラスは後日ヒューマンフォーラムのブランドから販売されます。
放送尺(秒)	150秒



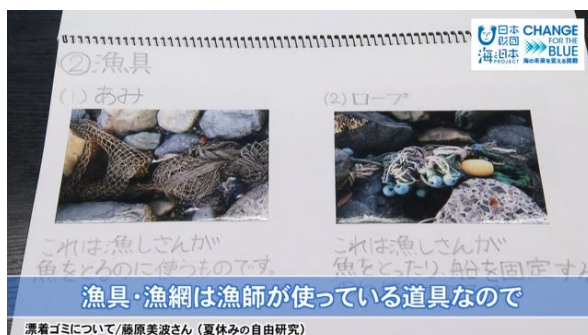
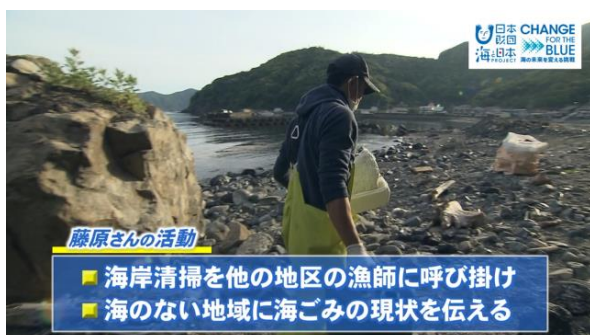
映像制作と放映

放送日時	5月1日(日曜日) 11:47~11:48
番組名	海と日本プロジェクト
放送内容	海洋ごみ問題の科学的知見を充実させることを目的に日本財団は東京大学と2019年共同プロジェクトをスタート。研究の成果について都内で記者発表が行われました。プロジェクトでは対馬周辺の海域で調査を実施。水中と比べ海底の泥の中により小さなプラスチックが堆積していること、要因として植物プランクトンが出す物質がマイクロプラスチックに絡みつき海の底に沈んでいく可能性が示されました。また、マイクロプラスチックは海の生き物や人間の体内に取り込まれ、様々な影響を与えることも明らかになりました。プロジェクトでは今後科学的根拠に基づく政策提言などを目指し、研究をさらに進化させることにしています。
放送尺(秒)	60秒



映像制作と放映

放送日時	5月19日(木曜日) 17:15~17:17
番組名	レポート! 福井の海洋ごみ #5 海岸を守る漁師
放送内容	若狭湾常神半島に囲まれた世久見は海水の透明度が高く夏の夕日が絶景なことで知られる海水浴場です。朝5時、海岸でゴミを集めているのは世久見観光組合のメンバーです。彼らは世久見で民宿を営んでいる漁師たち、メンバーは15人。3つの班に分かれ、漁のない火曜日に交代で海岸を清掃します。また、流れ着くゴミも問題だそうです。海藻に流木やプラスチックなどが絡みつき、分別が大変。藤原さんはこの海岸清掃を他の地区の漁師に呼び掛けたり、海のない地域に海ごみの現状を伝える活動も行っています。そして2年前、娘さんの自由研究を手伝った際にあることを感じたそうです。「漁具や漁網が流れ着いていたので僕ら漁師も注意しないとイケない。」娘さんも何かを感じたようです。「あまりゴミ拾いとかしたくないと思ったけど、魚は私たちが出したゴミを食べてどんどん死んでしまったりとかするのがかわいそうとか悲しいという思いになった。」
放送尺(秒)	150秒



映像制作と放映

放送日時	5月26日(木曜日) 17:15~17:17
番組名	レポート! 福井の海洋ごみ #6 美しい浜プロジェクト
放送内容	先月、美浜町の水晶浜で行われた清掃活動。およそ250人が参加したこの活動は美浜町が展開する美しい浜プロジェクトの一環で行われました。冬には季節風の影響で多くの海洋ごみが漂着する美浜町。海洋ごみの処理には多くの労力と費用が必要で、町にとって悩みの種となっていました。町の誇る美しい浜を守ろうとスタートした美しい浜プロジェクト。清掃活動の実施だけではなく、県の内外の企業と連携した活動やクラウドファンディングやふるさと納税による資金の調達などこれまで町内の問題として取り組んでいた海洋ごみを町外の人も巻き込み解決を目指しています。美浜町では海水浴シーズンに向け、今後も清掃活動を実施していきます。
放送尺(秒)	150秒



映像制作と放映

放送日時	6月2日(木曜日) 17:15~17:17
番組名	レポート! 福井の海洋ごみ #7 九頭竜川のごみを調査
放送内容	福井県勝山市の成器南小学校 この日開催されたのは、海に面していない地域の児童たちに海洋ごみの問題を自分事として考えてもらう体験授業。6年生の52人が参加しました。 講師のエコプラザさばえの畑中雅博さんから、海洋ごみの8割が街からやってくるため、自分たちの住む地域をきれいにすることで海洋ごみの削減につながるということ学びました。 そして、翌日、学校近くでゴミ拾いを実施! 児童たちがゴミ拾いをしているのは、日本海へ注ぐ一級河川「九頭竜川」の河川敷。そこに落ちているごみは、ペットボトルや空き缶など多くが生活ごみです。およそ1時間でこれだけのごみを回収しました。 5月28日から「春の海ごみゼロウィーク」 福井県では、地域住民の方々をはじめ各種団体、企業・行政等が連携し、ここ九頭竜川を始め多くの場所でゴミ拾いイベントを実施しています。
放送尺(秒)	120秒



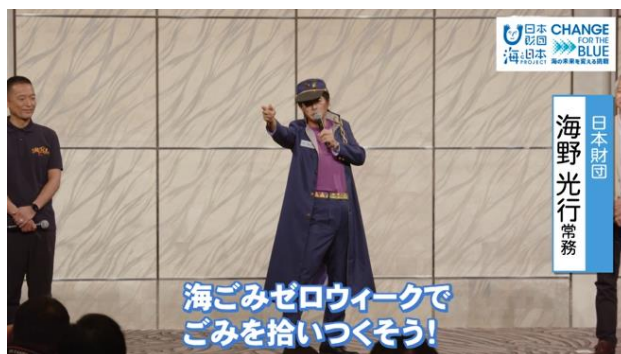
映像制作と放映

放送日時	6月9日(木曜日) 17:15~17:17
番組名	レポート! 福井の海洋ごみ #8 福井市長橋小学校
放送内容	日本海が目の前に広がる、福井市長橋小学校 子どもたちは、この地域の豊かな自然を知るために、磯観察など様々な海の活動を行っています。 この日は、全校児童17人が参加して、長橋漁港でワカメ干しを体験します。地元の人たちに教わりながら、子供たちもチャレンジ。まずは、採れたばかりのワカメの先端部分を切ります。余分な塩分をとるため真水で洗ったあと、ワカメの向きなど干し方のコツを聞きながら台の上に並べていきます。ワカメが揺れる豊かな海ですが、近年は、海洋ごみも目立つようになってきました。地区の海岸ぞいに、美化を呼びかける看板の設置や清掃活動も行っています。子供たちは、活動を通して、きれいな海を守っていく大切さを実感しているようでした。
放送尺(秒)	120秒



映像制作と放映

放送日時	6月16日(木曜日) 17:15~17:17
番組名	レポート! 福井の海洋ごみ #9 海ごみゼロウィーク
放送内容	<p>日本財団と環境省が共同で推進「春の海ごみゼロウィーク」 5月28日から6月12日までの期間中、各地で清掃活動が行われました。 キックオフとして開催された、「コスプレde海ごみゼロ大作戦」 思い思いの衣装に身を包んだコスプレイヤーたちは、撮影場所として訪れる事が多い渋谷の街でゴミ拾い。2時間の活動で、52袋分のごみを回収。 翌29日、福井市で実施されたのは「まちなか一斉ゴミ拾い」 道路わきや側溝に落ちていたビニール袋やたばこの吸い殻などを拾い集めていました。</p> <p>そして同じ日、県産業会館で開催された「福井県フェス」 オールプラスチックフリーを掲げるフェスに、今年は食べる器も登場! 各地の海の幸を使った丼、そして826askaさんの奏でる音楽を堪能した参加者の皆さんは、会場周辺をゴミ拾い。 ウィーク前後を含む期間中、県内各地で数多くのごみ拾い活動が実施。 海洋ごみの約8割は街が由来。みなさん一人一人の行動によって、美しい海が次の世代へ引き継がれていきます。</p>
放送尺(秒)	150秒



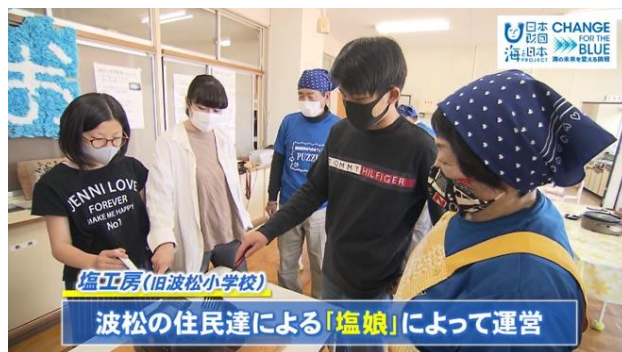
映像制作と放映

放送日時	6月23日(木曜日) 17:15~17:17
番組名	レポート! 福井の海洋ごみ #10 海域公園クリーンアップ
放送内容	若狭町の県海浜自然センター。海岸に流れ着いたゴミの展示など、深刻化する海洋ごみ問題について発信を続けています。 近くの食見海岸で毎年行っているのが「海域公園クリーン活動」 今年は企業単位で参加したグループや家族連れら、およそ20人が参加。 目につくのは、プラスチック製品や電球など、生活のなかから海に流れ出たごみの数々。 また、春先から全国で報告が相次ぐ注射器の漂着がここ若狭でも。 スノーケリング指導者や講座の受講生が海への恩返し。 海岸に加え、海中でもクリーン活動。 海底で発見したのは一海藻にからまった釣り道具。 沈んだごみと共に発見したのが! かわいらしいタコ。 様々な出会いを与えてくれる海。 大切に守っていく為わたしたちができること、一緒に考えてみませんか。
放送尺(秒)	120秒



映像制作と放映

放送日時	6月30日(木曜日) 17:15~17:17
番組名	レポート! 福井の海洋ごみ #11 伝統の塩づくりにも忍び寄る...
放送内容	子供たちが夢中で作っているものそれは、天然の甘塩です。 塩づくり体験ができる「塩工房」はあわら市波松の住民たちによる「塩娘」によって運営されています。 白い砂浜が自慢の波松海岸。 この地区では江戸時代、塩づくりが盛んに行われ、丸岡藩におさめられていました。 しかし、そんな伝統の塩づくりにも海洋ごみの影響が。 また、温暖化などが原因で砂浜にも大きな影響が出ています。 さらに、真冬の時期になると、砂浜が見えなくなってしまっています。歴史と文化が残る波松の景色を守るため、毎年区民全員やサーファーによる海岸清掃が行われています。
放送尺(秒)	120秒



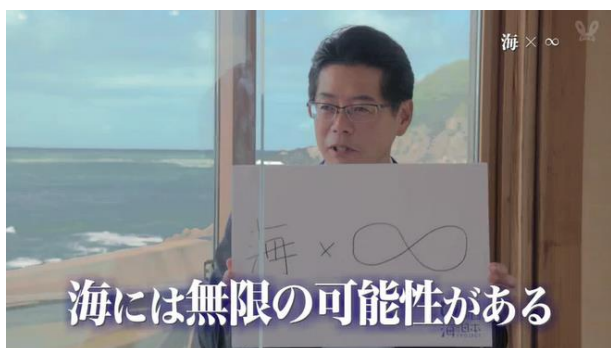
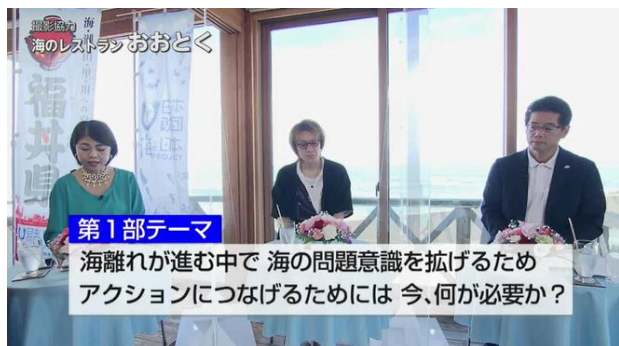
映像制作と放映

放送日時	11月5日(日曜日) 12:34~12:37
番組名	福井テレビ スポーツフェス2022
放送内容	<p>福井県フェスinサンドーム福井開催と鯖江市役所JK課オリジナルカニ缶先行販売を紹介。</p> <p>レジ袋やプラスチック容器を使用しないオールプラスチックフリーイベント。食べられる器で丼を提供している。</p> <p>福井県フェス会場の福井県プロジェクトブースでは鯖江市役所JK課のメンバーが鯖江市役所JK課プロデュース「極」煎餅の先行販売を実施。煎餅についているJK課パウダーは鯖江市役所JK課のメンバーが開発した、これまで廃棄されていたカニ殻の粉末を使用したトマト&カレー味の粉。</p> <p>JK課メンバー「捨てられてしまうとは思えないくらいとてもおいしい。」</p> <p>鯖江市役所JK課がプロデュースした「極煎餅」は明日から販売スタート!</p>
放送尺(秒)	170秒



映像制作と放映

放送日時	11月5日(日曜日) 15:25~16:25 12月27日(火曜日) 15:43~16:46
番組名	海と日本プロジェクト 特別番組「おっきな海とちっぼけな人間」
放送内容	若い世代を中心とした海離れ、そして海岸への漂着ごみ。海を取り巻く様々な問題の解決のため必要なアクションとは。「海と日本プロジェクト」を推進する日本財団・海野光行常務、そして若狭町出身のコメンテーター・若新雄純氏が坂井市三国町で対談。 第1部のテーマは『海離れが進む中で、若い方や関心が低い方に、海の問題意識を拡げるため、そしてアクションにつなげるために。今、何が必要なのか』、第2部のテーマは『人間のちっぼけさを知ることからはじめよう 海×○○から考える、海の魅力や可能性』。
放送尺(秒)	3600秒



事業ID:2022004899

事業名:福井県から発信する「井ぶりプラごみ」ゼロプロジェクト(CFB・海と日本2022)

団体名:福井県プロジェクト実行委員会

極秘

映像制作と放映

放送日時	9月18日(日曜日) 11:45~11:46
番組名	海と日本プロジェクトinふくい
放送内容	9月11日、鯖江市の女子高生によるまちづくりプロジェクトJK課が企画したごみ拾いイベント「ピカピカプラン」が開催されました。この日はJK課のメンバーや地元企業から参加。今回はJK課ならではの工夫も。ビンゴゲームの要素を取り入れて参加者は各所に貼られた数字を探しながら楽しんでごみ拾いを行いました。
放送尺(秒)	51秒



事業ID:2022004899

事業名:福井県から発信する「井ぶりプラごみ」ゼロプロジェクト(CFB・海と日本2022)

団体名:福井県プロジェクト実行委員会

極秘

映像制作と放映

放送日時	10月11日(日曜日) 17:15~17:17
番組名	福井テレビ ニュース・イト!内「PICK UP!」
放送内容	先月9日水曜、坂井市三国町海のレストラン おおとく。この日行われたのは「海と日本プロジェクト」特別対談番組の収録。出演は日本財団 海野光行常務、そして若狭町出身慶応大学特任准教授 若新雄純さんです。若い世代を中心とした海離れ、そして海岸への漂着ごみ。海を取り巻く様々な問題解決のため、必要なアクションなどについて対談を行いました。 「海と日本プロジェクト」特別番組「おっきな海とちっぽけな人間」11月5日土曜、午後3時25分から放送予定です。
放送尺(秒)	117秒



映像制作と放映

放送日時	2月20日(月曜日) 17:15~17:17
番組名	福井テレビ ニュース・イト!内「PICK UP!」
放送内容	12月に東京で開かれた「スポGOMI甲子園」に出場した敦賀高校の生徒が今月13日敦賀市役所を訪れ、大会の結果を報告しました。「スポGOMI甲子園」は高校生のごみ拾い日本一を決める大会、1チーム3人で制限時間の中で決められたエリアのごみを拾いその質と量を競い合います。12月に東京で開かれた大会には福井県代表として、敦賀高校1年生の森野巧巳さんと平吹壮一郎くんら3人が出場し、35チーム中14位という成績を収めました。「スポGOMI甲子園」は来年度も開催予定です。
放送尺(秒)	59秒



映像制作と放映

放送日時	9月6日(火曜日) 22:54~22:59
番組名	スポGOMI甲子園番組
放送内容	<p>「ごみ拾いはスポーツだ!」 スポGOMI。拾ったごみの量と質でポイントを競う、日本発祥のエコスポーツ。 海を愛する高校生たちが初代王座を目指し、熱戦を繰り広げました。 日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として開催、スポGOMI甲子園福井県 予選大会には15チームがエントリー。チームは3人1組。60分の制限時間の中 で、ごみの種類によってきめられたポイントの総得点を競います。 決戦の舞台は、国の名勝・敦賀市 気比の松原。長1.5km。広大なエリアで、ど のように回収をすすめるか、チームの戦略が勝敗のカギをにぎります。 一見美しい砂浜ですが一砂の中にうもれているごみ。 道路に面した松林ではプランターの中など、人目につきにくいところに、多くの 生活ごみが。 競技時間終了が近づき、計量所には続々選手の姿が。ごみ回収のオリジナル アイテムを制作したチームにはポイントが加点。この日集めたごみの総重量お よそ33kg。 果たして競技の結果は一優勝は敦賀高校1年生チーム「敦賀とてもすきすき」 12月東京でおこなわれる全国大会にスポGOMI初代県代表として出場!</p>
放送尺(秒)	280秒



映像制作と放映

放送日時	3月11日(土曜日) 17:15~17:30
番組名	目指すは海洋ごみゼロ~鯖江市役所JK課の挑戦~
放送内容	<p>日本初!女子高生による ゆるい街づくり 鯖江市役所JK課!</p> <p>2021年11月、鯖江市役所。会議室で行われたJK課ミーティング。メンバーたちが食べているのは、おやつではありません。</p> <p>このおせんべいが議論のテーマ、越前海鮮倶楽部が発売している「極煎餅」生地の65%がズワイガニという全国でも珍しい一品。</p> <p>この日ミーティングに参加しているのは、越前海鮮倶楽部滝田社長。県内外に直営店を展開する越前海鮮倶楽部。この度、JK課とコラボ決定!</p> <p>オリジナル極煎餅の開発をスタートさせました。商品が海洋ごみを考えるきっかけになってほしい一両者が今回の商品に込めたい思い・アイデアを話し合う議論が続けられました。</p> <p>海の現状について学びを深めようと、やってきたのは三国漁港。漁師の五島さん。越前がになど、三国の海を知り尽くすプロフェッショナル。海洋ごみの深刻さをあらためて実感したメンバーたち。この日、五島さんを訪ねたのは、もう一つ目的が一手にいれたかったのは、カニ殻。海の資源は少しも無駄にしたい。そんな思いから、カニ殻も商品に活用することに。</p> <p>鯖江市役所JK課オリジナルカニ缶リニューアルの様子や海洋ごみ削減ステッカー、オリジナルごみ拾いの活動など今年度の取り組みを紹介。</p>
放送尺(秒)	840秒



映像制作と放映

放送日時	2月27日(月曜日) 17:15~17:17
番組名	福井テレビ ニュース・イト!内「PICK UP!」
放送内容	日本発祥の「スポGOMI」 世界的に増加している海洋ごみ その8割は、陸・街から生まれている・・・ 「スポGOMI」ワールドカップ開催の記者発表の様子を放送。 (株)ファーストリテイリングからの寄付を活用し世界21カ国の代表チームが参加。 「SUPOGOMI WORLD CUP2023」は1時間の中でごみの量と質を競い、3人1組1チーム/年齢・性別は問いません。
放送尺(秒)	60秒

